

令和4年度 全国私立中学高等学校
私立学校特別研修会
英語 5 技能教育特別部会
(東日本エリア)

実 施 報 告

一般財団法人日本私学教育研究所 主催／日本私立中学高等学校連合会 後援

国においては、グローバル化への対応の一環として、小・中・高等学校等を通じた抜本的な英語教育改革を推進しています。これを受け、大学入試の英語でも4技能の総合的な評価が拡大しており、各学校においてはこれらへの対応は喫緊の課題です。更に、外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠である「CEFR」では、コミュニケーション活動を「Listening」、「Reading」、「Spoken Interaction」、「Spoken Production」、「Writing」としており、世界標準の言語教育は5技能となっています。

そこで当研究所では、私立学校の英語教育担当教員の指導力強化を図るため、前年度の4技能教育から更にレベルアップした5技能教育に係わる特別研修事業を、東日本エリア・西日本エリアで実施します。

◆ 会 期 ◆ 令和4年5月12日(木)・13日(金)

◆ 会 場 ◆ [洗足学園中学高等学校](#) 神奈川県川崎市高津区久本 2-3-1
 (JR南武線武蔵溝ノ口駅徒歩8分)

◆ 参加人員 ◆ 34名

◆ 参加対象 ◆ 私立中学高等学校の英語科教員 (ワークショップは英語で行われます。)
 ※参加対象校は、都道府県私学協会加盟の私立中学校・高等学校・中等教育学校

◆ プログラム ◆

○視察校紹介・施設見学 紹介者 蕪木 慎也 洗足学園中学高等学校教頭

○授業視察 洗足学園中学高等学校 (中学1年生から高校3年生までの英語の授業)

○視察校発表 テーマ 「Teaching English Communicatively」
 発表者 小田 千晶 洗足学園中学高等学校教諭

○研究協議 洗足学園中学高等学校の英語科の先生方を交えて意見交換

○Workshop テーマ 「Teaching interactive, integrated-skills lessons」
 発表者 **Ross Malcolm** Trainer of English, British Council

○研究協議 Workshop 講師を交えて意見交換

◆ 日程概要 ◆

時刻	9 30	10 30	11 30	12 5	13 50	14 55	15 15	16 30	17 30
5月12日 (木)	受付	開 会 式	視察校紹介 施設見学	授業視察 (3限)	昼食	授業視察 (4限)	視察校 実践発表	研究協議	Workshop Session1
5月13日 (金)			Workshop Session2	昼食		Workshop Session3	研究協議	閉会式	

※ プログラムの内容等は変更となる場合があります。

◆ 日程表 ◆

5月12日(木)

[会場 洗足学園中学高等学校 2階 小講堂]

9:30	受 付〔 2階 小講堂 〕																																																																							
10:00	◆開 会 式 司会 川本 芳久 一般財団法人日本私学教育研究所 理事・事務局長 1. 主 催 者 挨 拶 一般財団法人日本私学教育研究所 理事・所長 平方 邦行 研修会運営方針説明 英語 5 技能 教育 特別 委員会 委 員 長 2. 視察校代表挨拶 洗 足 学 園 中 学 高 等 学 校 校 長 宮阪 元子 10:30 3. 日 程 説 明 洗 足 学 園 中 学 高 等 学 校 オフィスマネージャー 校務主任 玉木 大輔																																																																							
10:30	◆視察校紹介・施設見学 司会 玉木 大輔 洗足学園中学高等学校オフィスマネージャー・校務主任																																																																							
11:00	紹介者 蕪木 慎也 洗足学園中学高等学校教頭																																																																							
11:00	◆授業視察 (授業は各教室で行います。) 3 限目 (11:00～12:05) <table><tr><td>クラス</td><td>担当者</td><td>授業内容</td><td>場所</td></tr><tr><td>J1B</td><td>Hirata</td><td>Review Lesson: Presenting on a Famous Person</td><td>J1B</td></tr><tr><td>J1B</td><td>Lin</td><td>Review Lesson: Presenting on a Famous Person</td><td>SR1</td></tr><tr><td>J2F</td><td>Kemsley</td><td>Term 1A Review (including vocabulary and reading)</td><td>J2F</td></tr><tr><td>J2F</td><td>Levine</td><td>Term 1A Review (including vocabulary and reading)</td><td>SR3</td></tr><tr><td>J3D</td><td>川又</td><td>Reading Life in Chile as a JOCV Volunteer (including activity: Let's translate an English song)</td><td>J3D</td></tr><tr><td>J3D</td><td>岩崎</td><td>The past perfect tense</td><td>SR4</td></tr><tr><td>S1CD</td><td>丸山</td><td>Reading "Dr. Rocket"</td><td>S1C</td></tr><tr><td>S1CD</td><td>松本</td><td>Reading "Dr. Rocket"</td><td>S1D</td></tr><tr><td>S1CD</td><td>Wales</td><td>The Handmaid's Tale Analysis</td><td>SR6</td></tr><tr><td>S1CD</td><td>Fasca</td><td>The Silent Patient Part 2 Analysis</td><td>SR2</td></tr><tr><td>S2DEF</td><td>中島</td><td>Presentation on South Africa</td><td>S2E</td></tr><tr><td>S2DEF</td><td>井上</td><td>Reading "The Value of the Ig Nobel Prizes"</td><td>S2F</td></tr><tr><td>S2DEF</td><td>小寺</td><td>Reading "The Value of the Ig Nobel Prizes"</td><td>書道室</td></tr><tr><td>S2DEF</td><td>Short</td><td>Integrating Evidence/Research</td><td>SR9</td></tr><tr><td>S3AD</td><td>黒沼</td><td>音読 (速読英単語)</td><td>S3A</td></tr><tr><td>12:05 S3AD</td><td>伊藤</td><td>Reading "Animals just follow the crowd"</td><td>S3D</td></tr></table>				クラス	担当者	授業内容	場所	J1B	Hirata	Review Lesson: Presenting on a Famous Person	J1B	J1B	Lin	Review Lesson: Presenting on a Famous Person	SR1	J2F	Kemsley	Term 1A Review (including vocabulary and reading)	J2F	J2F	Levine	Term 1A Review (including vocabulary and reading)	SR3	J3D	川又	Reading Life in Chile as a JOCV Volunteer (including activity: Let's translate an English song)	J3D	J3D	岩崎	The past perfect tense	SR4	S1CD	丸山	Reading "Dr. Rocket"	S1C	S1CD	松本	Reading "Dr. Rocket"	S1D	S1CD	Wales	The Handmaid's Tale Analysis	SR6	S1CD	Fasca	The Silent Patient Part 2 Analysis	SR2	S2DEF	中島	Presentation on South Africa	S2E	S2DEF	井上	Reading "The Value of the Ig Nobel Prizes"	S2F	S2DEF	小寺	Reading "The Value of the Ig Nobel Prizes"	書道室	S2DEF	Short	Integrating Evidence/Research	SR9	S3AD	黒沼	音読 (速読英単語)	S3A	12:05 S3AD	伊藤	Reading "Animals just follow the crowd"	S3D
クラス	担当者	授業内容	場所																																																																					
J1B	Hirata	Review Lesson: Presenting on a Famous Person	J1B																																																																					
J1B	Lin	Review Lesson: Presenting on a Famous Person	SR1																																																																					
J2F	Kemsley	Term 1A Review (including vocabulary and reading)	J2F																																																																					
J2F	Levine	Term 1A Review (including vocabulary and reading)	SR3																																																																					
J3D	川又	Reading Life in Chile as a JOCV Volunteer (including activity: Let's translate an English song)	J3D																																																																					
J3D	岩崎	The past perfect tense	SR4																																																																					
S1CD	丸山	Reading "Dr. Rocket"	S1C																																																																					
S1CD	松本	Reading "Dr. Rocket"	S1D																																																																					
S1CD	Wales	The Handmaid's Tale Analysis	SR6																																																																					
S1CD	Fasca	The Silent Patient Part 2 Analysis	SR2																																																																					
S2DEF	中島	Presentation on South Africa	S2E																																																																					
S2DEF	井上	Reading "The Value of the Ig Nobel Prizes"	S2F																																																																					
S2DEF	小寺	Reading "The Value of the Ig Nobel Prizes"	書道室																																																																					
S2DEF	Short	Integrating Evidence/Research	SR9																																																																					
S3AD	黒沼	音読 (速読英単語)	S3A																																																																					
12:05 S3AD	伊藤	Reading "Animals just follow the crowd"	S3D																																																																					

[会場 1階 TEA LIBRARY]

12:05 12:50	◆昼 食
----------------	------

12:50	◆授業視察 (授業は各教室で行います。) 4 限目 (12:50~13:50)			
	クラス	担当者	授業内容	場所
	J1F	Hirata	Occupations and describing family members	J1F
	J1F	Lin	Occupations and describing family members	SR1
	J2AB	深谷	接続詞 that、助動詞表現	J2A
	J2AB	藤澤	接続詞 that	J2B
	J2AB	Fasca	Fahrenheit 451 - Part 3 Analysis and "Allegory of the Cave"	SR4
	J2AB	Murata	Lord of the Flies Chapter 4 analysis	SR6
	J3C	小田	Story writing using the past perfect progressive tense	J3C
	J3C	岩崎	The past perfect tense	SR7
	S1F	Short	"How to..." Presentation	S1F
	S1F	Levine	"How to..." Presentation	SR2
	S2AB	中島	Presentation on South Africa	S2A
	S2AB	永井	Reading "The Value of the Ig Nobel Prizes"	S2B
13:55	S2AB	Wales	Brave New World Reading Skills	書道室
14:00	◆視察校実践発表 司会 佐々木 雄太 英語 5 技能教育特別委員 テーマ 「Teaching English Communicatively」 発表者 小田 千晶 洗足学園中学高等学校教諭			
15:00				
15:15	◆研究協議 (質疑応答・意見交換会) コーディネーター 佐藤 貴明 英語 5 技能教育特別委員			
16:00	洗足学園中学高等学校の英語科の先生方を交えて意見交換を行います。			
16:00	◆Workshop Session1 <技能統合型の授業：デモ授業> 司会 中川 千穂 英語 5 技能教育特別委員 テーマ 「Teaching interactive, integrated-skills lessons」 講師 Ross Malcolm Trainer of English, British Council			
17:30				
17:30	初日解散			

5月13日 (金)

〔会場 洗足学園中学高等学校 中高校舎 1 階 TEA LIBRARY〕

10:00	◆Workshop Session2 <デモ授業の分析> 司会 佐藤 貴明 英語 5 技能教育特別委員 テーマ 「Teaching interactive, integrated-skills lessons」 講師 Ross Malcolm Trainer of English, British Council			
12:00				
12:00	◆昼 食			
13:00				
13:00	◆Workshop Session3 <リーディングとスピーキングの統合型授業ワークショップ> 司会 佐々木 雄太 英語 5 技能教育特別委員 テーマ 「Teaching interactive, integrated-skills lessons」 講師 Ross Malcolm Trainer of English, British Council			
15:30				

15:30	◆研究協議
16:00	コーディネーター 中川 千穂 英語5技能教育特別委員 ※Workshop 講師、参加された先生方で、質疑応答を交えながら意見交換を行います。
16:00	◆閉会式
	司会 川本 芳久 一般財団法人日本私学教育研究所 理事・事務局長
	1. 総括 英語5技能教育特別委員会 委員 中川 千穂
	2. 挨拶 英語5技能教育特別委員会 委員長 平方 邦行
16:30	3. 閉会
16:30	解散

◆ 学校紹介 ◆

洗足学園中学高等学校（理事長 前田 壽一／校長 宮阪 元子）

謙虚にして慈愛に満ちた心を持ち、社会に奉仕貢献できる人材を育てるため、洗足学園中学高等学校では、独自の指導をおこなってきた。目指す教育は、社会にあってリーダーの役割を果たす人材の育成。こうした人材には、深い教養、高い知性、優れた社会性、高い品格が求められる。その基礎をしっかりと構築することが洗足学園中学高等学校の教育である。

洗足学園の英語教育「英語を通じて世界を知り、自分の可能性を広げる」

洗足では、英語を単なる言語として学ぶのではなく、英語を通じて文化や社会を理解・考察し、さらに自分の考えを発信するツールとして学ぶことを目標としている。授業は総合的学習の要素を取り込み、幅広い体験を含めて展開。ディベートやプレゼンテーションを行うほか、レシテーションコンテスト、クリスマスやハロウィンなどの異文化理解のイベントも多数実施している。

低学年の間は、イベントでコスチュームを身につけることもあり、まずは「英語って楽しい!」と思えるように指導している。発達段階に応じて、抽象度の高い難解な文章の読解に取り組んでおり、教育目標である①常に成長を目指し努力し続けられる人物、②世界で活躍できる能力を有した人物、③謙虚に自分を見つめ喜んで奉仕できる慈愛に満ちた人物の育成において、指針となるような人間像を扱う文章を深く読みこむことで、単に学力の育成にとどまらない人間教育を実践している。

◆ 講師プロフィール ◆

Ross Malcolm Trainer of English, British Council

タイ、マレーシア、南アフリカなどでの教師や試験対策を含め様々な年代に対する指導を経て、2015年から日本の文部科学省や教育委員会等の教員研修で講師及び教材開発を担当。修士（チチェスター大学）。専門は、外国語教師の専門性の向上。高等学校英語コミュニケーション用検定教科書「ENRICH LEARNING I」（東京書籍）の編集協力者。

ブリティッシュ・カウンシルは、世界各地で教育省等と連携し、英語教育を支援するプロジェクトを多数展開。日本では文部科学省や教育委員会等に実践的な英語指導法についての研修を実施したり、セミナーやコンファレンスを通して、指導者のスキルアップの機会を提供している。また、教材開発や組織単位の英語教育改革を支援するコンサルティングも行う。教員研修トレーナーは全員 CELTA 及び DELTA（大学院修士号と同等資格）を保有。

◆ Workshop 概要 ◆ ※研修内容に多少の変更が生じる可能性があります。ご了承下さい。

テーマ Teaching interactive, integrated skills lessons

5月12日(木)	
Session 1 16:00-17:30(90分)	技能統合型の授業：デモ授業 入試で出題された教材を使用し、スピーキング活動（やり取り）を取り入れた技能統合型の授業を体験する。
5月13日(金)	
Session 2 10:00-12:00(120分)	デモ授業の分析 デモ授業の分析を行い、指導のポイントを理解し、指導スキルの練習を行う。
Session 3 13:00-15:30(150分)	リーディングとスピーキングの統合型授業ワークショップ リーディングの事前及び事後活動にスピーキングが含まれた授業を計画し、マイクロティーチングを行う。
Skills and knowledge As with any kind of performance, the skills of reading and interactive speaking are composed of multiple sub-skills. In tennis, we need to learn how to serve, volley, lob and smash. In interactive speaking, we need to learn how to formulate our thoughts, quickly access the appropriate words and phrases to express those thoughts and monitor our speaking partner's understanding and reaction. Reading comprehension is also a mentally active process, made up of multiple subskills, from basic decoding to recognising language structures, verbal reasoning and the integration of relevant background knowledge. These sessions will give you an insight into the different components of reading and speaking that teachers need to be aware of when planning and teaching lessons. It will also give you practical classroom strategies to deepen students' understanding of texts while integrating realistic interactive discussions. You will have a chance to analyse and practise different teaching techniques and strategies, such as: • <i>Modelling discussions</i> • <i>Choosing appropriate spoken language input</i> • <i>Strategic use of Japanese</i> • <i>Other forms of scaffolding</i>	

◆ 講師・発表者・指導員(順不同) ◆

Ross Malcolm	Trainer of English, British Council
宮 阪 元 子	洗足学園中学高等学校 校長
蕪 木 慎 也	洗足学園中学高等学校 教頭
玉 木 大 輔	洗足学園中学高等学校 オフィスマネージャー・校務主任
小 田 千 晶	洗足学園中学高等学校 教諭
吉 田 晋	富士見丘中学高等学校 理事長・校長
平 方 邦 行	一般財団法人日本私学教育研究所 理事・所長

◆ 特別委員・指導員(順不同) ◆

平 方 邦 行	一般財団法人日本私学教育研究所 理事・所長
黒 沼 花 織	洗足学園中学高等学校 英語科主任
中 川 千 穂	工学院大学附属中学高等学校 英語科主任
佐 藤 貴 明	ドルトン東京学園中高等部 教諭
佐々木 雄 太	吉祥女子中学高等学校 教諭
岡 本 貴 行	修道中学校・修道高等学校 教諭
川 本 芳 久	一般財団法人日本私学教育研究所 理事・事務局長

◆概要◆

令和4年5月12日(木)～13日(金)、神奈川県川崎市・洗足学園中学高等学校において開催した。全国より英語科教員34名が参加し、初日は学校視察や小田千晶・洗足学園中学高等学校教諭による実践発表、同校英語科教員を交えた研究協議、Ross Malcolm・Trainer of English, British Councilによるワークショップ1を実施した。その後2日目に掛け、ワークショップ2、3を行い、参加者は終始意欲的に研修に取り組み、当部会は成功裏に終了した。

5月12日(木)

◆開会式◆

主催者挨拶・研修会運営方針説明(平方邦行 当研究所理事・所長／英語5技能教育特別委員長)

開催にあたって洗足学園中学高等学校に多大な協力をいただいた。視察等の他にはブリティッシュ・カウンシル講師によるワークショップも行う。ぜひ多くのことを学び取ってほしい。今年度より英語5技能教育特別部会と改称しているが、これは欧州評議会が定めたヨーロッパ言語共通参照枠CEFRに準拠している。真のグローバル教育とは英語を含めた外国語とリベラルアーツが合体して初めて成立するものと理解し、英語教育に取り組んでほしい。



視察校代表挨拶(宮阪元子 洗足学園中学高等学校校長)

学校では英語教育が大きな転換期を迎えている。英語5技能を学校教育にどのように落とし込んでいくか、関心が集まる点であろう。本校での2日間の研修会を通して何らかのヒントを得て、参加の先生方や生徒に還元できればと考えている。実りある有意義な時間となることを祈念している。



◆視察校紹介・施設見学◆(蕪木慎也 洗足学園中学高等学校教頭)

本学園は前田若尾先生が1924年に私塾を創設したことが始まりで、学園名は敬虔なクリスチャンであった前田先生が名付けた。建学の精神は自律・挑戦・奉仕で、常に成長を目指し努力し続けられる人物に育ってほしい、世界で活躍できる能力を有した人物に育ってほしい、謙虚に自分を見つめ喜んで奉仕できる慈愛に満ちた人物に育ってほしい、との目標の下で教育を行っている。

1クラス40～45名、1学年6クラスで、約240名のうち30～40名が帰国生である。帰国生は英語の授業のみ、入学時からネイティブ教員による習熟度別クラスで授業を受けている。一コマ65分、週6日制で土曜日は午前中のみ授業がある。文理別授業は高校2年次よりスタートするが、本校では全科目必修制としている。音楽の授業では中学3年間で一つの楽器を習得することを目標に、4つの楽器より1つを選択し、中学3年次に集大成として全員で合奏する。一般入試の生徒も英語のクラスは中学1年次より出席番号で2つに分割され、高校1年次より習熟度別クラスに分かれる。数学は中学3年次、理系の理科は高校2年次より習熟度別授業としている。土曜日や長期休暇中にはミネルヴァセミナーという教養講座を開講し、各界のスペシャリストを招き講演・講義を賜っている。

本校が重点を置いている探究活動は、教科教育全般に渡って取り入れている。総合学習・宿泊研修を通して、総合的な人間力育成のため哲学対話を取り入れている。生徒たちは中学1年次より哲学対話に取り組み、深い部分まで命題を掘り下げて考えている。新しい知や価値を創造する力、対立を克服する力の育成のため、また世界のリーダーに育ってもらいたいとの願いから、積極的に学校の外へ出て活動することも奨励しており、そうした活動を支える新施設として、SKYLIGHT READING ROOM(図書館)をオープンした。



施設見学の様子

◆授業視察◆

参加者は3限、4限の授業を視察した。「生徒が豊富に、自然と英語を使って授業に参加している様子が印象的であった」との感想が多数寄せられた。



パイプオルガンの生演奏



授業視察の様子



TEA LIBELARY

◆実践発表◆

Teaching English Communicatively (小田千晶 洗足学園中学高等学校教諭)

本校では、どうしても日本語で説明しなければ生徒たちにとって理解し難い文法事項以外、英語を使用して生徒主体の授業を展開している。

高校では生徒の進学をサポートしながら、5技能を伸ばす授業をどのように

実践するか、試行錯誤しながら取り組んでおり、実際に授業で生徒たちが行うアクティ

ビティを紹介する。また、Micro-teach1: Gallery Walk<create your Utopia>、Micro-teach2: Fairy tales<poster making>、Micro-teach3: indirect questions<fluency line>、Micro-teach4: Advise~, tell~, order~to <role play>については参加者全員で行い、各自の授業を実践する上で参考にいただければと思う。



アクティビティの様子



◆研究協議◆

洗足学園中学高等学校の英語科教諭を交えて意見交換を行った。佐藤貴明・英語5技能教育特別委員がコーディネーターを務め、施設見学や授業視察の感想を共有し、続いて質疑応答が行われた。

○施設見学・授業視察の感想

- ・校内施設の質が高い。新しい施設を加える際、生徒に与える教育効果が具体的にイメージされている。
- ・生徒が集中できる施設環境が整っている。65分授業は長い、生徒の集中力も大変高いように見えた。
- ・一般的に文法事項は日本語で説明することが多いが、洗足では文法も英語で説明されていて、その説明が英語であってもわかりやすく、教員のレベルの高さを感じた。
- ・放課後の図書室で、教員が帰宅後も生徒だけで残って勉強するシステムはあまり聞いたことがなく、教員の生徒に対する信頼があればこそ可能であるのだろうと感じた。
- ・教員の話す英語がゆったりとしていて無理がなく、そのためか、生徒も自然な英語を話していた。

○質疑応答

Q1. 生徒のアクティビティをどのように評価するか。

A1. 正式な評価には加えていない。よくできた、頑張った生徒にはシールを貼るなどしてモチベーションを高めている。また生徒の相互評価を取り入れて、楽しく前向きに学習に取り組めるよう工夫している。

Q2. 英語科30人がどの程度教育目標を共有しているのか。

A2. 最終的に大学受験において、あるいは社会人になって困らないような英語力を育成することを念頭に、各学年で指導している。



研究協議の様子

◆Workshop Session1◆

Teaching interactive, integrated-skills lessons

(Ross Malcolm Trainer of English, British Council)

Integrated skills reading lessons: Demonstration

Speaking in reading lessons : 3つのカテゴリーに分けて考える必要がある。

1. Before reading

【Paragraph1】

◇最初に以下の英語を投げかけ、生徒たちに個人で考えさせる。

If you do less shopping, you … .

Is it possible to “buy nothing”?

◇続いてパートナーとアイデアをシェアさせる。

考えられる答えの例 It doesn't sound realistic, because…

【Paragraph2, 3, 4, 5 and 6】

◇単語の発音や意味を確認する。

【Paragraph6】

◇派生語の確認をする。



2. During reading

【Paragraph1 を読む】

◇なぜイギリスでは人は買い過ぎてしまうか理由を2～3つ抽出する。

- ・ SNS の誇大広告
- ・ オンラインでの手軽さ
- ・ 安い値段

【Paragraph2 を読む】

◇イギリス人が抱える買い物における問題点を抽出する。

- ・ クレジットカードを使い過ぎる
- ・ 莫大な量の服を捨ててしまう

【Recap:Paragraphs 1 and 2】

複数のキーワードを提示し、それらが1と2のどちらに書いてあったかを復習をする。

【Paragraph3 を読む】

◇チャリティーがいかに服の無駄の問題に貢献しているかを考え自分の言葉で伝える。

◇チャリティーが唯一の解決法ではない理由を考え自分の言葉で伝える。

【Part1 summary】

複数のキーワードを提示し、これまでのまとめを英語でさせる。

【Paragraph4 を読む】

◇True or False Questions に取り組ませる。

【Paragraph5 を読む】

◇選択肢の問題に取り組ませる。(内容一致)

【Paragraph6 を読む】

◇True or False Questions に取り組ませる。

3. After reading

【Grammar focus】

複数の写真（エコバッグや自転車等）を提示し、

You can ～ by doing…を使用して文法の学習をする。



ワークショップの様子

5月13日（金）

◆Workshop Session2◆

【Review】デモ授業の続き Environmental and human cost を思い出す

【Reflection】一人で考える→日本語でペア共有→Reaction 例を示す→相手を変え共有

Integrated skills analysis and practice デモ授業分析と実践練習

◇読解の指導：読解の障害とその解決法

- ・語彙：視覚（絵、綴り）と音を活用
- ・わかりにくい文章：語彙を事前説明
- ・背景知識：視覚の活用、簡潔に短く
- ・読む力のロープ：言語の理解と単語の認識が読む力を構成する

◇話す技能の指導

- ・Discussion と Retelling の違い：ねらい、使用語彙、指導法
- ・Discussion 実施のコツ：有効な問いの設定、使用言語の予測

【Reflection】一人で考える→日本語でペア共有→Reaction 例を示す→相手を変え共有

◆Workshop Session3◆

Discussions from reading workshop 読解ワークショップを経ての討議

◇読解の指導：

- ・読解前の活動：題材に興味を持つよう工夫
- ・読解活動：単語、背景知識
- ・読解後の活動：使い勝手の良いフレーズの回収
- ・マイクロティーチング：ペアで実際の授業プラン・構成を考える
- ・マイクロティーチング：グループでデモ授業をシェア



ワークショップの様子

◆研究協議◆

【Malcolm 先生から全体へのまとめ】

- ・今回は様々なアプローチを紹介した。学んだことすべてをすぐに授業に反映させるのは難しいかもしれないが、明日からの授業に部分的にでも盛り込んでもらえたら幸いだ。

【参加者からのコメント】

- ・明日からの自分の授業で生かせそうだった。
- ・語いの導入など、生徒がつまずきそうなところの指導が明確になったので、すぐに指導に生かしたい。

【参加者からの質問】

Q1. スピーキングアクティビティの際、生徒全員へ個別にフィードバックをしたいが、時間の都合上難しい。どのようにしたら適切にフィードバックをすることができるか。

A1. 例えば生徒へリフレクションシートを書くことで、個別にフィードバックすることができる。また同じ質問が多数あるなら、クラス全体へ共有するのも良い方法だ。

Q2. 英語でのディスカッションを諦めてしまう生徒に対してどのような対応がとれるか。

A2. 英語の割合を増やすことが大事で、英語だけでやることを第一としない。生徒が英語を使いやすい環境を整えてあげることも大切。使えるフレーズを練習し、話すべき内容を確認し意識付けを図る。

Q3. 生徒間の英語のレベル差が大きいクラスでは、話し合いの時間の長さの判断に困る。

A3. 質問を細分化して1分でやるのはどうか。待つのが苦痛だと思わせない時間設定も大切。

Q4. テストにおいては授業で扱った長文を用いる方がよいか。

A4. 同じものを使用するのではなく、似た内容や形式のものを選んでテストで課するのが理想的だ。

Q5. 洗足学園では New Treasure のようなハイレベルテキストの Reading をネイティブの先生が担当している様子を見て驚いたが、どのような経緯でそうなったか。

A5. 数年前「英語を英語で教える」というプロジェクトを英語科内で立ち上げた。ネイティブの先生にリーディングを担当してもらうことでコミュニカティブな授業につながるという思いで踏み切った。

○総括（中川千穂 英語 5 技能教育特別委員）

